

## 平成24年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	ぶどう白色大粒品種「シャインマスカット」は短梢せんに適する		
[要約] ぶどう品種「シャインマスカット」は第1、2節位の発芽率、花穂着生率が高いため短梢せんに適している。また、長梢せんに比べ、収量が確保でき、果実品質は同等である。					
キーワード	ぶどう	シャインマスカット	短梢せんで	技術部	果樹研究室

## 1 背景とねらい

ぶどう品種「シャインマスカット」は、良食味の大粒種で、ジベレリン処理により容易に無核となり、果皮ごと食べられるため全国で生産量が伸びている。岩手県のブドウ栽培は「キャンベルアーリー」の短梢棚の簡易被覆栽培が大半を占めており、消費者の嗜好とのずれが生じていることに加え、老齢樹が増加しているため、改植を進める必要がある。

しかし、岩手県の奨める大粒種は、短梢せんで花穂着生率や果実品質が低下することが多いため、生産拡大が期待される「シャインマスカット」(以下本品種)について、栽培管理が容易である短梢せんの適応性を検討する。

## 2 成果の内容

- (1)本品種の短梢せんににおける第1、2節位の発芽率、花穂着生率は紅伊豆等の大粒種と比較して高く、短梢せんに適する(表1)。
- (2)果実品質は、長梢せんに比較して同等である(表2、3)。
- (3)短梢せんの単位面積当たりの収量は長梢せんに比較して高い(表2、3)。

## 3 成果活用上の留意事項

- (1)本品種はジベレリン処理が必須であり、ジベレリン処理時の作業性や病害、果面の汚れ等の観点から、被覆栽培を基本とする。
- (2)ジベレリン処理により着房及び着粒が安定するため、着果量は岩手県における大粒種の値を参考とし着果過多とならないように注意する。
- (3)短梢せんで樹冠の拡大が早く、早期に収量を得られるが、本品種は仕立て法にかかわらず結実後2~3年の1果粒重は成木と比較して劣る(表4)。
- (4)果房の着生位置は第3~5節で主枝から30cm程度離れるため、短梢棚の支線はそれ以上とする。

## 4 成果の活用方法等

## (1)適用地帯又は対象者等

昭和61年指導上の参考事項「ぶどう栽培の気象条件からみた栽培適地図」の紅伊豆の栽培可能地、ぶどう生産者

## (2)期待する活用効果

- ア キャンベル・アーリーの改植時のシャインマスカット導入が促進される(普及見込み面積:10ha)。
- イ 良食味のため消費拡大につながる。

## 5 当該事項に係る試験研究課題

- (829)キャンベル・紅伊豆にかわる大衆嗜好品種の育成及び選抜
- (2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造用、兼用種等の品種選抜)

## 6 研究担当者

田口 礼人

## 7 参考資料・文献

- (1)平成11年~平成23年 果樹試験成績書
- (2)平成18年岩手県農業研究センター試験研究成果「ぶどう「シャインマスカット」の特性評価」

- (3)平成 19 年度岩手県農業研究センター試験研究成果「ぶどう短梢栽培用平棚を利用した「紅伊豆」の栽培」  
 (4)平成 21 年度岩手県農業研究センター試験研究成果「ぶどう品種「シャインマスカット」の花穂整形、ジベレリン処理、摘粒の方法」  
 (5)平成 23 年度東北農業研究成果情報「ブドウ「シャインマスカット」無核栽培の早期成園化に適する仕立て方」

## 8 試験成績の概要（具体的なデータ）

表 1 各仕立て方の発芽率、花穂着生率 (2012)

試験区	樹齢	発芽率(%)		花穂着生率(%)	
		(1 節)	2 節)	(1 節)	2 節)
短梢せん定	6	98.5 <sup>z</sup>	(95.6 91.9)	88.7 <sup>z</sup>	(83.0 70.8)
長梢せん定(若木)	6	87.8	-	86.2	-
長梢せん定(成木)	15	88.9	-	85.7	-
(参考)紅伊豆 短梢せん定	7	-	(34.3 82.9)	-	(17.1 71.4)

調査日：7月4日(長梢せん定(6年生)10月5日)

表中 z：結果母枝毎の発芽率、花穂着生率

調査方法：短梢せん定は4主枝上にある結果母枝、長梢せん定は4本の結果母枝を調査。

表 2 各仕立て方の果実品質及び収量 (2012)

試験区	房重 (g)	粒重 (g)	着粒数 (粒)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	収量 (kg/10a)
短梢せん定	426	10.9	39.6	22.7	0.18	1386
長梢せん定(若木) <sup>z</sup>	340	8.3	40.2	19.0	0.14	620
長梢せん定(成木)	450	11.4	38.6	22.5	0.14	925

収穫日：9月25日

試験区：開花期に花穂を4cmに整形し、満開期にジベレリン25ppm+ストレプトマイシン、満開10~15日後にジベレリン25ppm処理を行ない、摘粒は適宜行なった。

収量：10a当たりの植栽本数、短梢せん定：31本、長梢せん定(若木)：33本、長梢せん定(成木)：8本

表中 z：長梢せん定(6年生)は高温干ばつにより弱樹勢となったため参考値とする。

表 3 各仕立て方の果実品質及び収量(山形県農業総合研究センター園芸試験場果樹部、2011)

定植後年数	房重(g)			果粒重(g)			糖度(Brix%)			収量(kg/10a)		
	4年目	5年目	6年目	4年目	5年目	6年目	4年目	5年目	6年目	4年目	5年目	6年目
短梢せん定	448.4	680.7	660.8	11.4	14.6	13.9	17.0	17.0	17.8	909	1,520	1,505
長梢せん定	413.7	633.4	639.4	10.6	13.8	13.6	16.5	16.5	18.1	537	1,109	1,363

2008年：定植4年目、2009年：定植5年目、2010年：定植6年目

表 4 樹齢による果実品質 (2010~2012)

樹齢	房重 (g)	粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸度 (g/100ml)	収量 (kg/10a)
14、15 4~6	392 291	10.0 7.9	21.1 19.6	0.21 0.21	929 396

長梢せん定、露地栽培

2010年：樹齢4年、2011年：樹齢5年14年、2012年：樹齢6年15年

樹齢：接ぎ木後の生育シーズンの数。